

わくわく地域連携教育だより

下関市教育委員会
令和7年12月15日
ホームページ
にも掲載



山口県教育委員会では、「やまぐち PRIDE」の醸成のために、キャリア教育の推進とふるさと山口に貢献する人材の育成の視点をもって教育活動を進めています。「やまぐち PRIDE」とは、ふるさとの自然やひと、伝統文化を大切にする気持ち、また住んでいる地域コミュニティに主体的に参画しようとする心意気です。今回の地域連携教育だよりでは、子供たちが地元の商店や事業所へ職業体験をする取組や、下関で活躍する職業人の話を聞いて一緒に作品を創る「よのなか講座」の取組を紹介します。

関西小 地元商店街(事業所)へ職業体験



関西小学校では、毎年5・6年生が、地元商店街周辺で職業体験をしています。保育園・魚屋さん・菓子屋さん・コンビニエンスストア・花屋さん・果物屋さん等、様々です。

子供たちは、幼児の可愛さに触れたり、お金

を扱う責任を感じたり、体験を通して仕事の意味や楽しさを学びました。このような体験が、職業（キャリア）について考える機会になることはもちろん、地域を知り、地域のために何か自分もしていきたいという思いにつながることを期待しています。学校には、「地域学校協働活動推進員」という地域と学校をつなげる方がおり、関西小学校では、その方が子供たちの要望を聞いて、地域の事業所との調整等をしてくださっています。当日も参加し、優しく見守ってくださいました。

文洋中 よのなか講座クリエイターの巻



文洋中学校では、クリエイター5名に講師を依頼して「よのなか講座」が開催されました。職業は、下関市を拠点に活動する服飾デザイナー、画家、メタバースクリエイター、動画クリエイター、エディター（編集者）でした。ある生徒は、受験の論文対策のためにエディター講座を選択したところ、自由に創作できる「書く仕事」の楽しさに出会うことができたそうです。また講座は地域や保護者にも開放されており、エディター講座は、「自治会で文章を書く時の参考になりそうだ」という声もありました。